

長松地区 第6次工事

整地工 15.84ha 畦畔工 2,414m 道路工 2,774m (盛土土量 17,600m³)
用水路工 2,853m 排水路工 2,119m 溝水処理工 3,226m

この工事では、施工場所が山沿いにあたり、至る箇所からの湧水があったため、施工中に湧水処理を施しながらの作業になった。また例年より天候不良が続いたため作業日数が少なくなり使用重機の確保に苦労した。

施工前



施工後



道路工においては所により道路高低差が6m以上で道路盛土量が合計17,600m³あり基盤切盛土時の現場発生土使用の設計で基盤土（軟弱土）で盛土施工したため、法面滑落が起きた、このため法面部に3mの松杭を使用した木柵を2段施工することにより法面の滑落を防止しようやく完成に辿りつける事ができた。

使用重機

(20tブルドーザ：4台 6tブルドーザ超々湿地：2台
0.4m³バックホウ：5台 0.7m³バックホウ：1台)



道路滑落箇所 木柵施工状況

